

市民説明会におけるぎふし未来地図（案）に対する意見とそれに対する岐阜市の考え方

期間 平成30年8月7日（火）～9月2日（日） 計9回
場所 コミュニティセンター（8会場）及び本庁舎大会議室

※ページ数は現時点のものを表しています。

ぎふし未来地図について（これまでの経緯）	
意見の概要	
1	市民意識調査数は、回答をもらった人数を書くべき。【日光コミセン】
2	いろいろな人から意見を聞くことが重要。【日光コミセン】
3	市民ワークショップ191人では、市民の意見を反映したとはいえないのではないか。【日光コミセン】
4	説明会で出された意見を検討し、行政として、こんな方向に行きたいというビジョンを示さないと、市民の理解は得られない。【日光コミセン】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方> (策定の経緯) 「ぎふし未来地図」の策定にあたっては、準備の初期の段階から、政策などの意思決定に住民の意見を取り入れるというパブリックインボルブメントの考え方のもと、幅広い市民の皆様の声を聞いてまいりました。191名もの方々にご参加いただきました市民ワークショップのほか、市民意識調査、市民会議などを実施し、これらの取り組みを丁寧に積み重ねてきたことで、「ぎふし未来地図」は、多くの市民の皆様の多様なご意見を反映できたものと考えております。</p> <p><変更点> ・P34 市民意識調査の概要を注釈に追記しました。 ・P45～50 「策定の経緯」の章を追記しました。</p>	

ぎふし未来地図について（内容、位置づけ）	
意見の概要	
5	抽象的な記載が多い。【南部・西部・日光・北東部・東部コミセン】
6	観光客誘致、災害の問題などが重要。【市橋コミセン】
7	数値目標のうち、市民の誇り50%は低い。【市橋・日光コミセン・北部コミセン】
8	「ぎふし未来地図」は、前総合計画から何が変わったのか見えてこない。【西部コミセン】
9	政策を3つから5つくらいに絞るなど重点施策を考えると良い。【西部・北部コミセン】
10	具体的な施策は、資料2の右側にある「施策の方向性」に書いてあると理解すれば良いか。【日光コミセン】
11	「ぎふし未来地図」は、岐阜市総合計画に替わるものか。【日光コミセン】
12	財政的な裏付けが必要。【日光・北東部・東部コミセン】
13	是非、未来都市像を実現させてほしい。【北東部コミセン】
14	6つの方向性をまとめたキャッチフレーズがあると良い。【北東部コミセン】
15	岐阜市の目指す都市像とは何か、一言で教えてほしい。【北東部コミセン】
16	こういう風にしたいという将来都市像なので、「ぎふし未来地図」という名前は合わないのではないか。【北東部コミセン】
17	5年計画の中に具体的な施策を書いて欲しい。【北東部コミセン】
18	10年後の数値目標の現状値はどうなっているか【東部コミセン】
19	「ぎふし未来地図」に都市像が落とし込まれていると思った。【北部コミセン】
20	40万人の市民が共有し、進める体制を「ぎふし未来地図」の中につくと良い。【北部コミセン】
21	「ぎふし未来地図」はどういう位置づけで岐阜市の何なのかを正しく伝えることが重要。【北部コミセン】
22	北部地域をどんなふうにしたいのか、一言で教えてほしい。【北部コミセン】
23	都市間競争が求められる中で周辺市町の分析も必要ではないか。【北部コミセン】
24	東部の目玉となるようなビジョンがあると良かった。【東部コミセン】
25	「誇りを感じる人の割合」の目標はどう決めたのか【東部コミセン】
26	13地域の目標についてどう変わったのか。【長森コミセン】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方> （「ぎふし未来地図」の位置づけ） 「ぎふし未来地図」は、複雑化かつ多様化する行政課題に対して、計画的かつ柔軟に行政運営に取り組むため、これまでの総合計画に代わり岐阜市の未来の都市づくりの方向性を示すものです。未来に向け市民の皆様へ地図のように身近に手に取っていただきたいの思いから、名称を付けました。 そして、分野ごとの個々の対応ではなく、全体として最適化することが重要であるため、政策間の連携を重視し、複数の分野別計画を束ねる役割を担い、個別具体的な事業・計画は記載していません。各分野では、具体的な事業を実施しますが、未来地図における重要業績評価指標などを毎年度把握し、柔軟に見直しながら、財政的な裏付けのもと、進めていきます。 （未来の姿） この「ぎふし未来地図」では、市民と行政とが互いに共有すべき未来の姿として、「ひととまち、集い交わる活力と笑顔あふれる成長都市ぎふ」を掲げており、市民の皆様が岐阜市の未来を自分の未来として捉えていただければと願っております。 （10年後の数値目標） 数値目標は、岐阜市の未来の姿を目に見える形で測定するためのもので、この5年間の数値の推移はほぼ横ばいで、今後、人口減少や少子高齢化などの社会的変化とともに、これまでと同水準を維持することも困難な状況の中、現状の水準を維持し、さらに超えることができるようにとの思いから目標を設定しています。 （13地域ごとのめざす姿） 13地域ごとのめざす姿は、前総合計画において、2022年のめざす姿として策定されたもので、今後も市民の皆様がまちづくりに取り組むうえで、重要なものになると考えており、引き続き「ぎふし未来地図」においても掲げ、地域の人々の目指す思いを大切にしていきます。</p> <p><変更点> ・P5 「ぎふし未来地図」の名称についての説明を追記しました。 ・P7 「ぎふし未来地図」の役割を追記しました。 ・P9 予算編成を経て財政的裏付けを取ることに追記しました。 ・P10 「ぎふし未来地図」が総合計画に代わるものであることを追記しました。 ・P25 市民1人当たりの所得について、周辺市の分析も追記しました。 ・P69、70 10年後の数値目標の設定についての説明を追記しました。</p>	

ぎふし未来地図について（今後の進め方）	
意見の概要	
27	政策間連携が必要。【西部コミセン】
28	優先順位が重要【日光コミセン】
29	職員が同じ目的に沿って、それぞれが自分の担当を進めていくことが大事。【日光コミセン】
30	進捗状況を評価し必要に応じて見直す必要がある。【北部コミセン】
31	未来都市像に対する現状値を把握した上で進めるのが良い。【北東部コミセン】
32	地域の特性に配慮した具体的な施策を進めて欲しい。【北東部コミセン】
33	市街地と条件が異なる地域の特性を考慮し進めて欲しい。【北東部コミセン】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方> (今後の進め方)</p> <p>分野ごとの個々の対応ではなく、全体として最適化することが重要であるため、「ぎふし未来地図」は、政策間の連携を重視し、複数の分野別計画を束ねる役割を担っています。一方、分野別計画は、「ぎふし未来地図」における位置づけや他の分野との関係性を認識し整合を図りながら、計画同士の連携を高めていきます。</p> <p>なお、「ぎふし未来地図」では7つの都市づくりの方向性に沿って未来の姿を実現するため、優先付けはしていませんが、毎年度の予算編成に当たっては、「ぎふし未来地図」や分野別計画の進捗状況とともに重要業績評価指標などを毎年度把握し、社会情勢や財政見通しを踏まえ、優先的に取り組むべき事項を考慮しながら、柔軟に政策を展開し、PDCAサイクルを構築し進めていきます。職員においても、行政内部の会議や予算編成方針で出される内容を共有し、それぞれの担当業務を進めていきます。</p> <p><変更点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・P7 「ぎふし未来地図」の役割を追記しました。 ・P9 PDCAサイクルの構築について追記しました。 	

都市づくりの方向性① 教育／子育て／生きがい	
意見の概要	
34	市外から来る夫婦のみで子育てする人は困っている。子育てする母親同士交流できる場が必要。【南部コミセン】
35	待機児童の現状値が「0」ということは、母親が子供を預ける心配はないということである。【南部コミセン】
36	児童館は子どもの数が少ない中心部が中心で、公平に配置して欲しい。【市橋コミセン】
37	施策の方向性の5、生涯学習の推進、高齢者の社会参画の推進とあるが、今までと比べて、何が具体化されているのか。【日光コミセン】
38	前市長が生涯学習について新たな考え方を示していたが、「ぎふ未来地図」は、これを具体的に示したということか。【日光コミセン】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方> (都市づくりの方向性①) 子どもを安心して産み育てる環境づくりには、地域から孤立し育児不安を抱える子育て家庭が増えることがないよう、地域の子育て力を高めることなどが重要と考えており、施策の方向性「家庭や地域の子育て力の向上（政策1）」の考え方に沿って進めています。また、人生100年時代を迎える上で、学び直した成果を地域のまちづくりや就労に生かすなど、生涯学習の意味合いがより高まっていると認識しており、施策の方向性「生涯学習の推進」の考え方に沿って進めていきます。</p>	
都市づくりの方向性② 健康／福祉／医療	
意見の概要	
39	独居や夫婦のみの世帯へ配慮されているか不安を感じる。【本庁舎】
40	高齢者も交流できる場が必要。領下公民館でサロンを行っている。【南部コミセン】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方> (都市づくりの方向性②) 超高齢社会を迎える中、高齢者の孤立や老々介護などによる介護する家族の負担増が懸念されるため、施策の方向性「高齢者の社会参画の推進（政策5）」や「高齢者の支援（政策8）」の考え方に沿って進めていきます。</p>	
都市づくりの方向性③ 働く場／活力／歴史・文化	
意見の概要	
41	政府の働き方改革を進めた時に、労働法に適用されないような働き方になるのではないか。【本庁舎】
42	第3次産業のみならず、ものづくりが重要。【本庁舎】
43	高速道路のそばには、こんな産業が期待できるといった、前向きな話を伝えて欲しい。【本庁舎】
44	企業誘致など、市内に仕事を作ることが重要。【本庁舎・市橋・東部コミセン】
45	観光をPRしながら、地場産業も力をいれていかないといけない。【南部コミセン】
46	市内総生産について、上げていくのか構成比率を変えていくのかどうするべきと考えているのか。【西部コミセン】
47	施策の方向性⑩「企業誘致の促進」について、岐阜市が活性化していくのか、疑問に感じる。【西部コミセン】
48	資料P.49「⑤暮らしを守り支える、安全・安心なまち」について、農地を残していくことが重要。【北部コミセン】
49	政策12「外国人観光客の誘客促進」について、資料P.8に2017年の訪日外客数は岐阜市はどうなっているのか。【長森コミセン】
50	国内外を問わず、鶺鴒を目当てに観光に来られる方が、岐阜市に対してどんなイメージを持っているのか。【長森コミセン】
51	岐阜、鶺鴒、岐阜城のイメージはどうか岐阜市に焦点を当てた見方が重要である。【長森コミセン】
52	市街地となった農地について地域の共有の畑にするなど、有効に利用する方法を考えてはどうか。【本庁舎】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方> (都市づくりの方向性③) 本市の産業を活性化するためには、既存の地域産業の競争力を強化しつつ、地域経済への波及や雇用創出につながる企業誘致を促進することが重要であり、施策の方向性「地域産業の経営力強化（政策10）」、「新たな産業や事業の創出（政策10）」及び「企業誘致の促進（政策10）」の考え方に沿って進めていきます。</p> <p>なお、働き方については、年齢、家庭の状況など個々の状況に応じた多様な働き方が実現されることが重要で、施策の方向性「女性や高齢者などが活躍できる環境づくり（政策9）」、「企業の労働環境改善の促進（政策9）」の考え方に沿って進めていきます。</p> <p>また、国内外からの誘客を図り観光振興に向けた取り組みが必要な中、本市でしか味わい、感じるのできない他都市にはない本市固有の魅力づくりが重要で、岐阜市ブランドを確立しながら、「歴史・文化など地域資源を活用した観光振興（政策12）」の考え方に沿って進めていきます。</p>	

都市づくりの方向性④ 活性化／多世代交流／多文化共生	
意見の概要	
53	外国人が増える中で、外国人を市民として位置付けることが必要【本庁舎】
54	玉宮町は、活性化してきているが、店を出してもすぐにやめてしまう可能性がある。【南部コミセン】
55	玉宮町をアーケードにするなどして若い人達だけでなく、高齢者も行けるようにすると良い。【南部コミセン】
56	岐阜駅前が暗い。街全体が明るいというイメージが大事である。【南部コミセン】
57	中心市街地の衰退の要因として、郊外型のスーパーの出店を許可してきたことは、国策として失敗である。【市橋コミセン】
58	中心市街地の駐車場を無料にしてほしい。【市橋コミセン】
59	柳ヶ瀬はシャッターが閉まっているところが多く、中心市街地の活性化が課題。【市橋コミセン】
60	コンパクトシティを目指し、若者を中心に地を集める策を進めようとしている中、「ぎふ未来地図」との関連が見えない。【西部コミセン】
61	多文化共生、国際交流の推進が進んでいくのか、疑問である。【西部コミセン】
62	自治会は、市にいろんな面で貢献している。【東部コミセン】
63	市では、まちづくり協議会を推進しようとしている。【東部コミセン】
64	自治会加入率が低下すると、まちづくり協議会も発展しない。【東部コミセン】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方> (都市づくりの方向性④) 地方都市における中心市街地は都市を特徴づける「都市の顔」であり、都市全体を牽引する中枢機能拠点としての役割が期待されることから、施策の方向性「まちなかの魅力づくり（政策13）」、「まちなか居住の推進（政策13）」の考え方に沿って進めていきます。 なお、中心市街地へは、施策の方向性「利便性の高いバスネットワークの構築（政策21）」などを進めることから、公共交通を利用いただきながら、まちなかに移動いただきたいと思います。</p> <p>また、多様化、複雑化した地域課題を解決するには、行政だけでは限界があり、市民、自治会、市民活動団体など多様な主体と一緒に携わっていくことが重要で、施策の方向性「市民活動の促進（政策14）」、「多世代交流によるまちづくりの推進（政策14）」及び「市民と行政の協働の推進」の考え方に沿って進めていきます。</p> <p>さらに、人口減少社会において、外国人が活躍する機会の増加が見込まれることから、国籍などが異なる人々が互いに認め合い、共に生きていけるよう施策の方向性「多文化共生の推進（政策15）」の考え方に沿って進めていきます。</p>	
都市づくりの方向性⑤ 防災・防犯／地域の助け合い	
意見の概要	
65	ハザードマップが更新されていない。【南部コミセン】
66	三里では、30km規制の看板一つでも、非常に時間を要した。市全体を公平に扱ってほしい。【市橋コミセン】
67	国道や環状線が渋滞すると、生活道路の危険性が増す。【市橋コミセン】
68	子供たちがケガをしないことが、重要である。【市橋コミセン】
69	事故を減らす策として、3つ要望する。（生活道路へ入り込まないようにする。速度制限する。ランプをつける。）【市橋コミセン】
70	交通安全教育は、運転する側を教育しなくてはいけない。【市橋コミセン】
71	主要地方道岐阜・南濃線の交通量が多く、地域で発生する交通事故の80%は、鶉の人ではなく、地域外の人と聞いた。【市橋コミセン】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方> (都市づくりの方向性⑤) 台風や地震などの自然災害の発生が想定される中、本市では、地震、洪水、内水、土砂災害に関するハザードマップを作成しており、各個人が日頃から、岐阜市総合防災安心読本を活用し、災害時の危険箇所や避難場所をハザードマップにて確認し、災害時に取るべき行動を認識するなど、市民一人ひとりの自助や、避難所運営などの地域の共助の意識醸成に向けた環境づくりが重要で、施策の方向性「地域防災力の強化（政策16）」などを進めていきます。 また、安心は目に見えないものの、日頃の生活には欠かせないもので、施策の方向性「地域の防犯体制の充実（政策17）」や「地域の交通安全体制の充実（政策17）」の考え方に沿って進めていきます。</p>	

都市づくりの方向性⑥ 生活環境／交通	
意見の概要	
72	居住誘導地域の設定について、岐阜市南部は、標高が低く、浸水などが懸念されるが、そういった考慮がされていない。【南部コミセン】
73	道路の修繕要望に対して、県の対応は早い、市は遅い。【市橋コミセン】
74	車依存ではなく、路面電車や自転車を中心となるような世界的な理念が必要ではないか。【市橋コミセン】
75	三輪は、交通アクセスが悪い。バスで市街へ行くのに往復1000円～1500円を超える。【北東部コミセン】
76	コミバスは、本数が少なく動きづらい。コミバス事業運営への支援には経営面の課題もあって難しい。【北東部コミセン】
77	金華山や長良川などの天然資源は、人間がつくったものではなく、我々がそれを壊しているのではないかと思っている。【長森コミセン】
78	鶴飼大橋ができたことで、堤防に昔あった交通公園や対岸の雄総の桜並木をもう一度、復活してほしい。【長森コミセン】
79	生活用水が流れているからなが長良川が汚れていることは、残念な環境である。【長森コミセン】
80	地元の中学生が川をきれいにする運動を行っており、非常に大きな事であるが、恥ずかしいことでもある。【長森コミセン】
81	環境が破壊され、復旧されていない状況があり、理念に書かれたことと矛盾している。【長森コミセン】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方> (都市づくりの方向性⑥)</p> <p>人口減少の中で、行政サービスや日常的なサービス機能を効率的に維持する必要がある、コンパクトシティ+ネットワークのまちづくりに向け、施策の方向性「日常生活に必要な都市機能と住まいの誘導（政策18）」や「利便性の高いバスネットワークの構築（政策21）」、「持続性の高いコミュニティバスの構築（政策21）」の考え方に沿って進めていきます。なお、居住誘導区域には、土砂災害特別警戒区域など含んでいません。</p> <p>また、生活を営むうえで欠かせない水や食糧などは豊かな自然の恵みから得られており、このことを強く意識し、豊かな自然を大切にすることが重要で、施策の方向性「環境教育の充実（政策20）」の考え方に沿って進めていきます。</p>	
都市づくりの方向性⑦ 行政	
意見の概要	
82	財政のシミュレーションが必要。【日光・北部コミセン】
83	名古屋の人も岐阜市に住みたいと思えるようなまちづくりを進めて欲しい。【北東部コミセン】
84	県の中核都市として近隣市町も踏まえた目指す方向を考える必要がある。【北部コミセン】
85	都市内分権について具体的なことが書かれていない。【北部・長森コミセン】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方> (都市づくりの方向性⑦)</p> <p>これまでの6つの方向性の推進に向け、行政として将来的な財政見通しなども踏まえながら、最適な行財政体制を確立し下支えするため、交流人口や定住人口の増加につながる岐阜市ブランドの確立に向け施策の方向性「交流や定住促進に向けたシティプロモーション（政策27）」などに沿って進めていきます。また、行政連携の推進に向け施策の方向性「近隣自治体や県との連携の推進（政策22）」や「多様な地域との都市間連携・交流の推進（政策22）」に沿って進めていきます。さらには、市政運営の理念に掲げた「多様な地域核のある都市と都市内分権の推進」に沿って、進めていきます。</p>	
市民説明会について	
意見の概要	
86	説明会だけでは理解しにくい。【本庁舎・日光コミセン】
87	参加者が少なく、市民の関心が少ない。来てもらえる工夫が必要。【南部・市橋・日光コミセン】
88	中学生、高校生、大学生、20～30代などもっと若い人達にPRするべきではないか。【日光コミセン】
89	ホームページを見て、「ぎふし未来地図」に興味を持って参加した。【北東部コミセン】
90	市民説明会は、具体的な戦略を説明する会ではないか。【北部コミセン】
91	初めて参加したが、市の説明会がこんなに熱心なんだと知った。【東部コミセン】
92	結婚している女性が参加しやすいよう、平日の昼間の開催があると良い。【東部コミセン】
93	意見募集では、どんな意見を求めているのか。また、出した意見は、市長に見てもらえるのか。【東部コミセン】
94	パブリックコメントから策定までの期間が短く、このスケジュールで本当に民意が反映できるのか。【長森コミセン】
95	ホームページを見たが、公表資料まで簡単にたどり着けない。【長森コミセン】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方> (市民説明会)</p> <p>市民説明会は、市民意識調査、市民会議、市民ワークショップなどを経てまとめました最終案について、パブリックコメント手続きにおいてご意見をいただくに当たり、分かりやすく説明する機会として開催したもので、のべ108人のご参加をいただいたところですが、策定の過程においては、多くの市民の皆様をはじめ、各種団体や有識者などから、ご意見をいただきながら作り上げてきたと考えています。</p> <p>(今後の啓発)</p> <p>「ぎふし未来地図」の策定後には、市民の皆様が岐阜市の歩む方向性が分かりやすく伝わり、共感を得ることが大切で、本冊とともに、誰もが未来の姿を思い描きやすくなるよう概要版を作成しており、広報ぎふやホームページなどを通じて広く周知し、未来の担い手となります若い世代など、親しみをもって手に取って見ていただけるよう働きかけるとともに、コミュニティセンターでの配布や出前講座など、啓発に努めてまいります。</p>	

その他	
意見の概要	
96	P.12の社会動態について、40代以降の転入が増えているとのことであるが、どう捉えているか。【本庁舎】
97	データの説明があったが、市と全国を見比べ、傾向が変わっている点はあるか。【本庁舎】
98	規模の近い都市（金沢市など）と比べると、どうか。【本庁舎】
99	広報ぎふでも、今回の内容について、興味を持つような記事を提示をして欲しい。【本庁舎】
100	東京までの所要時間が短くなることで、どれだけの人や企業が来るのか、もっと力強く見せて欲しい。【本庁舎】
101	東京からの時間が短縮されることを活かして、（企業を）市の中心部に持ってくることを考えなくてはいけない。【本庁舎】
102	新庁舎のエレベーターについて、空洞のままにするのか。【本庁舎】
103	この街が元気になるためには、財政面が重要である。【本庁舎】
104	今日は、勉強になった。【南部コミセン】
105	岐阜市としては、お父さん世帯をどうしたら良いのか、がポイントである。【南部コミセン】
106	名古屋のベットタウンとして、若い人達が住むようにしていくと良い。【南部コミセン】
107	稲沢や一宮への流出を止めるにはどうするべきかを考える必要がある。【南部コミセン】
108	アンケート結果だけでなく、広報が不十分ということを認識し他の市よりも優れていることを説明できることが重要。【南部コミセン】
109	若い方達にどうやって伝えるか、考えなければいけない。【南部コミセン】
110	1ヶ月の出生数、死亡者数、交通事故死者数など基本的な数値を把握しないとイケない。【南部コミセン】
111	加納地区について、加納の和傘職人の後継者がいなくて困っている。【南部コミセン】
112	鶉、市橋は、子供が増えつつある。【市橋コミセン】
113	米しかつけれないようなところでも、税金が高い。【市橋コミセン】
114	公共の建物の維持管理は、盛り込まれているか。【西部コミセン】
115	市から自治会へ、いろんな事業が下りてくるが自治会の年齢も高齢化し限界があるため、そこをよく考えるべき。【日光コミセン】
116	根本的に人口減少がいろんなことに悪い影響を与えている。【日光コミセン】
117	シャッター通り（となっていること）など、いろんな課題がある。【北東部コミセン】
118	周辺の団地は、高齢化が非常に進んでいる。【北東部コミセン】
119	昔からの集落は、高齢者世帯がどんどん増えている。出生数も少ない。【北東部コミセン】
120	投資をしないと岐阜市は良くならない。関係する市町の協力も得る必要がある。例えば、高富まで、地下鉄を通す計画はどうか。【北部コミセン】
121	岐阜市が名古屋の衛星都市であることは避けられない。【北部コミセン】
122	市民が幸せかどうかが重要である。市がどうなっているか大事なことはあるが、身近なものではない。【北部コミセン】
123	40年ぶりに岐阜に帰ってきた。10～15年先は、近未来になると思う。【北部コミセン】
124	結婚を機に岐阜市へ戻った。【東部コミセン】
125	施策に対して賛成や反対などの様々な意見があるが、理念として、両方を天秤にかけることはしてはいけない。【長森コミセン】
岐阜市の考え方と変更点	
<p><岐阜市の考え方></p> <p>いただいたご意見は今後の政策、施策を推進にあたって、参考にさせていただきます。</p> <p>岐阜市の未来は、市民の皆様が主体となって作っていくもので、今後も、市民の暮らしを支える地方自治体として、未来に向けた都市づくりを市民と行政との協働により進めていきます。</p>	